


國酒振興事業〔平成 2 9 年度〕

平成 29 年 9 月 26 日 日本酒輸出協議会

	項 目	概 要
1	世界大会イベント	<p>世界に向けて國酒(日本酒、本格焼酎・泡盛)の情報発信を強化するとともに、流通ネットワークの拡大を図るため、ワインの国際見本市で伝統・規模とも最大級であるフランス・ボルドーのヴィネクスポ(VINEXPO)に業界団体として初出展した。その後パリでもデモンストレーションを実施した。</p> <p>・「VINEXPO 2017」/6月18日(日)～21日(水)、28社参加(日本酒23社、焼酎5社)。100人規模のセミナーを実施、6人の蔵元パネラーとの意見交換、アンケート調査を実施(別添参照)。</p>
2	海外イベント	<p>國酒の認知度と正しい知識の普及のため、関係機関との連携も想定し、フォローアップ、新規開拓、地域拡大の3点を配慮しながら、効果の高い国を中心にセミナー・試飲等のイベントを実施する。また國酒の海外普及事業としてブラジル・サンパウロのジャパンハウスオープンにあわせて、日本酒等関係の情報(制作DVD、パンフレット)を提供した。</p> <p>日本酒</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台湾と香港において一般消費者向けの試飲セミナーを実施予定 ・ロンドンにおいてメディア関係者向けの試飲会を実施予定 <p>本格焼酎・泡盛</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界のバーテンダー等を対象としたハードリカーの祭典(米国、ドイツ)に参加 ・規制緩和になった台湾の食品飲料展に出展 ・香港の一般消費者向けイベントに参加予定
3	国際空港國酒キャンペーン	<p>訪日外国人の國酒への認知度向上を図るため、主要国際空港において年間を通じて、試飲・販売を行うとともに日本各地の日本酒、本格焼酎・泡盛のツーリズムのPRを実施している。</p> <p>4空港(成田国際空港第1及び第2ターミナル、東京国際空港、関西国際空港、中部国際空港(自治体含む))において継続して実施。</p> <p>・4月～8月末日までの全体の集客16,172名、出展蔵75社</p> <p>併せて、キャンペーンの認知度の向上を図るための広告を旅サイトやSNS等でのPRを行う。</p> <p>(参考)全日空では空港ラウンジ(成田、羽田、関西空港の国際線及び羽田の国内線)に國酒コーナーを設け、3か月交替で各県國酒の展示、試飲を実施中。</p>

	項目	概要
4	海外サポートデスク	<p>海外の主要都市にサポートデスクを設置し、現地市場情報及びその国内市場の収集、継続的な情報発信及び各種国内外の國酒事業の発信を行う。</p> <p>日本酒：米国／ニューヨーク、英国／ロンドン、香港(新規)</p> <p>本格焼酎・泡盛：米国／ニューヨーク</p>
5	JSSマーク普及事業	<p>日本産であることを示すJSSマークの海外での認知度の向上と普及を促進する。特に日本酒については地理的表示と合わせたブランドの向上を促進する。</p> 
6	外国人招へい酒蔵ツーリズム	<p>各地域の情報強化のため、海外のメディア、インフルエンサー等を招へいし、酒蔵を中心に地域の食、生活文化等の見学・体験を通して、國酒の魅力を知ってもらう酒蔵ツーリズムを日本酒、本格焼酎で各1回実施(海外への発信力の弱い地域や地域のブランド化に努めている地域)する。</p> <p>日本酒：愛媛県、高知県において酒蔵他を見学・体験。平成30年1月22日(月)～26日(金)予定</p> <p>本格焼酎・泡盛：鹿児島県、沖縄県において酒蔵他を見学・体験。10月27日(金)～11月1日(水)予定</p>
7	国内インバウンド対策事業	<p>日本酒：「全国新酒鑑評会公開きき酒会」と「全国日本酒フェア」の二つのイベントを合わせた「日本酒フェア2017」を世界最大級の日本酒の祭典に発展させるため、今年度は前日に在京大使館員等の情報発信力の高い外国人を対象としたイベントを合わせて実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「日本酒フェア2017 プレイベント」(池袋サンシャインシティBホール) / 6月17日(金)、在日大使館、外交官等を中心に201名が参加。 ・「日本酒フェア2017」(池袋サンシャインシティ A・Bホール) / 6月18日(土)、約6,600名が参加。 <p>本格焼酎・泡盛：日本の国際的食品・飲料展へ出展し、海外からの酒類流通業者やバイヤー等を対象として、本格焼酎・泡盛に関するさまざまな情報を発信することにより、正しい商品知識等の普及を図る。</p> <p>各地方においても、地域文化等の特徴を生かしたインバウンド向け事業を実施している。</p> <p>日本酒：大都市30事業、地方57事業 / 焼酎：大都市4事業、地方8事業 / 合計99事業</p> <p>(注)次年度から、日本の伝統文化の継承の観点から日本酒、本格焼酎・泡盛文化啓発活動及び乾杯運動の推進を行うとともに2019年のラグビーワールドカップや2020年の東京オリンピックに向けて各地域の飲食生活文化活動を拡大。</p>

	項目	概要
8	Sake & Shochu Academy	外国人等を対象とし、國酒の基本知識及びテイasting技術の教育を行い、海外における國酒の正しい知識の普及促進を図るため、Sake & Shochu Academy を実施する。
9	国際線機内番組放送	日本への国際線内における機内において、國酒のPR番組を放映し、インバウンドに向けて國酒文化のPRを図る。
10	日本の酒情報館	「日本の酒情報館」を拠点に國酒の総合的な情報発信活動を展開する。また、定期的に蔵元、杜氏、外国人講師によるセミナーを開催して國酒の魅力の発信や正しい商品知識の普及を図る。
11	赤煉瓦酒造工場市民講座	「赤レンガ酒造工場」を、国内外の消費者向け情報発信の基地として、一般消費者対象(外国人含む)の日本酒、本格焼酎・泡盛セミナーを開催する。また、日本の酒情報館と連携して通訳案内士対象の酒蔵ガイド研修会を実施し、2020年東京オリパラ向けインバウンド対応の強化を図る。
12	輸出基本戦略のフォローアップ	日本酒及び本格焼酎・泡盛の輸出基本戦略を市場動向や浸透度の変化を踏まえてフォローアップを行う。

VINEXPO 2017 6/18~6/21



ボルドー ワイン博物館
(La Cite du Vine)





6/19 15:30~17:00 Sake & Shochu Seminar

